

青森市埋蔵文化財調査報告書 第21集

# 市内遺跡

詳細分布調査報告書

平成5年度

青森市教育委員会

## 序

青森市教育委員会では、国・県の補助金の交付を受けて、平成4年度から市内遺跡詳細分布調査を実施してきております。

私たちの住む青森市には、1万年以上もの昔から『青い空、青い海、青い森』という豊かな自然の中で培われた歴史があります。

埋蔵文化財保護行政としては、遠い祖先の残してくれた貴重な文化遺産を保護し、子孫へ正しく伝えていかなければならないことは言うまでもありません。

道路建設などの開発の増加傾向がみられるなか、埋蔵文化財の保護と各種開発事業との円滑な調整を図るうえで、遺跡の性格・所在地・範囲などを正確に示す遺跡台帳を整備していくことが必要不可欠なものであります。

本書は、平成5年度に実施した市内遺跡詳細分布調査の成果をまとめたものであり、文化財の保護に資するところがあれば幸いに存じます。

最後となりましたが、ここに本書を刊行することができましたことは、文化庁・県教育庁文化課はもとより、調査員をはじめとする関係各機関からのご指導の賜ものによるものと深く感謝の意を表する次第であります。

平成6年3月

青森市教育委員会

教育長 花 田 陽 悟

## 例 言

- 1.本書は、国庫補助金交付を受けて平成5年度に実施した青森市内遺跡詳細分布調査の報告書である。
- 2.本文中の遺跡の範囲図には、国土地理院発行の1 / 25,000の地図を利用し、上辺を北に統一して掲載した。
- 3.分布調査において表面採集した資料は、青森市教育委員会が保管している。
- 4.本書の作成にあたり、次の機関にご指導を賜った。ここに深く感謝の意を表する次第である。  
文化庁・青森県教育庁文化課

# 目 次

序

例言

目次

## 第 章 事業実施の概要

第 1 節 調査に至る経緯 1

第 2 節 調査要項 1

## 第 章 分布調査

第 1 節 調査地区 3

第 2 節 新規登録遺跡 4

第 3 節 範囲を拡張した遺跡 12

第 4 節 油川地区以北の周知の遺跡 14

表面採集資料 15

第 5 節 時期別遺跡分布 20

時期別遺跡一覧 24

おわりに 26

## 第 章 事業実施の概要

### 第1節 調査に至る経緯

埋蔵文化財保護行政を推進していくうえで、最も基本となるべきことは、管内の埋蔵文化財包蔵地に関する所在地・数・現況などの詳細な基礎資料を整備しておくことである。

特に、近年、道路建設をはじめとする多種多様な開発事業が増加してきており、それに伴い埋蔵文化財への影響も少なからず危惧されてきている。このような開発と埋蔵文化財保護は表裏一体といえ、両者を円滑に調整していくためにも市内の埋蔵文化財に関する基礎資料は必要不可欠であり、その資料整備は急務なことといえる。

以上の観点をふまえ、当市の埋蔵文化財保護行政を推進していくためには、管内を対象とした遺跡詳細分布調査を実施する必要がある、この事業内容を標記の事業名で国庫補助金の交付を受け実施したものである。

### 第2節 調査要項

#### 1. 対象地区

青森市内全域

#### 2. 事業期間

平成5年5月24日～平成6年3月31日

#### 3. 調査主体者

青森市教育委員会

#### 4. 調査指導機関

文化庁

青森県教育庁文化課

#### 5. 調査体制

調査員 水田 政雄

坂本 洋一

岩田 満

金山 晃道

事務局 青森市教育委員会

教育長

花田 陽悟

生涯学習部長

阿部祐之助

社会教育課長	寺沢松三郎
同課長補佐	遠藤 正夫
同課主幹兼埋蔵文化財係長	塩谷 光男
同課指導主事	長沼 圭一
〃	徳差 義男
〃	小林 淳
同課主事	武田 均
〃	田沢 淳逸
〃	上野 隆博

## 6. 調査方法

市内全域を対象とし、特に開発が予想される地域とその周辺地域、また油川地区以北（油川～四戸橋）の周知の遺跡を重点的に調査した。

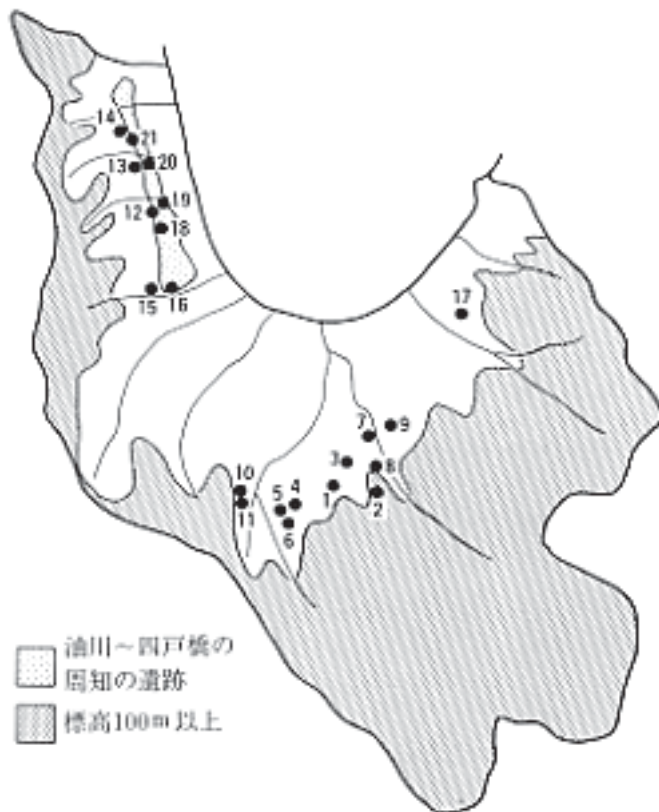
調査方法は、地表面の観察と地形などを考慮に入れた現地踏査を原則とした。

# 第 章 分 布 調 査

## 第 1 節 調 査 地 区

分布調査は、6月から12月中旬まで実施した。分布調査の対象地区は、標高500m以上の山岳地帯及び海・河川を除く市内全域とし、特に、開発が予想される地域とその周辺地域の未登録の埋蔵文化財包蔵地の把握に努めるとともに、より詳細な資料を把握する必要のある油川地区以北の周知の遺跡と周辺について分布調査を実施した。

横内・合子沢地区	横内（2）遺跡、桜峯（1）遺跡、四ッ石（3）遺跡
野木・大別内地区	野木沢田遺跡、葛野（1）遺跡、葛野（2）遺跡
幸畑・田茂木野地区	阿部野（2）遺跡、阿部野（3）遺跡
駒込地区	月見野（3）遺跡
高田地区	朝日山（4）遺跡、朝日山（5）遺跡
油川～四戸橋地区	前田（8）遺跡、小橋（7）遺跡、湯ノ沢館遺跡、天田内（2）遺跡、天田内（3）遺跡



第 1 図 調 査 地 点

- \* 新規登録遺跡
- 1. 横内（2）遺跡
- 2. 桜峯（1）遺跡
- 3. 四ッ石（3）遺跡
- 4. 野木沢田遺跡
- 5. 葛野（1）遺跡
- 6. 葛野（2）遺跡
- 7. 阿部野（2）遺跡
- 8. 阿部野（3）遺跡
- 9. 月見野（3）遺跡
- 10. 朝日山（4）遺跡
- 11. 朝日山（5）遺跡
- 12. 前田（8）遺跡
- 13. 湯ノ沢館遺跡
- 14. 小橋（7）遺跡
- 15. 天田内（2）遺跡
- 16. 天田内（3）遺跡
  
- \* 範囲を拡張した遺跡
- 17. 宮田館遺跡
- 18. 頼戸子（3）遺跡
- 19. 前田（1）遺跡
- 20. 内真部（5）遺跡
- 21. 小橋（1）遺跡

## 第2節 新規登録遺跡

### 横内・合子沢地区

遺跡番号	01206	現況	畑地、山林
遺跡名	構内(2)遺跡	時代	縄文時代前・中期
所在地	青森市大字合子沢字山崎	出土遺物	縄文土器数片(第3図3、写真1-3)
種別	包蔵地	備考	市道6号線改良工事に伴う分布調査による発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01207	現況	畑地、山林
遺跡名	桜峯(1)遺跡	時代	縄文時代前期
所在地	青森市大字横内字桜峯	出土遺物	縄文土器多数 (第3図4・5、写真1-4・5)
種別	包蔵地	備考	横内バイパス建設に伴う分布調査による発見
立地	丘陵		





遺跡番号	01215	現況	畑地
遺跡名	四ッ石(3)遺跡	時代	縄文時代
所在地	青森市大字四ッ石字里見	出土遺物	縄文土器数片(第3図6、写真1-6)
種別	散布地	備考	横内バイパス建設に伴う周辺の分布調査による発見
立地	丘陵		



野木・大別内地区

遺跡番号	01216	現況	畑地
遺跡名	野木沢田遺跡	時代	平安時代
所在地	青森市大字野木字沢田	出土遺物	土師器多数(写真2-22)
種別	散布地	備考	文献にある遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01216	現況	畑地
遺跡名	野木沢田遺跡	時代	平安時代
所在地	青森市大字野木字沢田	出土遺物	土師器多数(写真2-22)
種別	散布地	備考	文献にある遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01218	現況	畑地
遺跡名	葛野(2)遺跡	時代	縄文・平安時代
所在地	青森市大字大別内字葛野	出土遺物	縄文土器、土師器数片 (第3図9、写真1-9、2-23)
種別	散布地	備考	文献にある遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



幸畑・田茂木野地区

遺跡番号	01219	現況	畑地
遺跡名	阿部野(2)遺跡	時代	平安時代
所在地	青森市大字幸畑字阿部野	出土遺物	土師器数片(写真2-24)
種別	散布地	備考	大規模開発に伴う周辺の分布調査による発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01220	現況	畑地
遺跡名	阿部野(3)遺跡	時代	平安時代
所在地	青森市大字幸畑字阿部野	出土遺物	土師器数片(写真2-25)
種別	散布地	備考	大規模開発に伴う周辺の分布調査による発見
立地	丘陵		





駒込地区

遺跡番号	01221	現況	畑地
遺跡名	月見野(3)遺跡	時代	縄文時代後期
所在地	青森市大字駒込字月見野	出土遺物	縄文土器数片(第3図10、写真1-10)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



高田地区

遺跡番号	01222	現況	畑地
遺跡名	朝日山(4)遺跡	時代	平安時代
所在地	青森市大字高田字朝日山	出土遺物	土師器数片(写真2-26)
種別	散布地	備考	文献にある遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01223	現況	畑地
遺跡名	朝日山(5)遺跡	時代	平安時代
所在地	青森市大字高田字朝日山	出土遺物	須恵器・土師器数片 (第3図11、写真1-11、2-27)
種別	散布地	備考	文献にある遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01224	現況	畑地
遺跡名	前田(8)遺跡	時代	縄文時代後・晩期
所在地	青森市大字奥内字宮田	出土遺物	縄文土器多数(第4図12、写真1-12)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01225	現況	山林
遺跡名	湯ノ沢館遺跡	時代	不明
所在地	青森市大字前田字湯ノ沢	出土遺物	なし
種別	館跡	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01226	現況	畑地
遺跡名	小橋(7)遺跡	時代	縄文時代
所在地	青森市大字左堰字大科	出土遺物	縄文土器多数 (第4図13・14、写真2-13・14)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		





遺跡番号	01227	現況	畑地
遺跡名	天田内(2)遺跡	時代	縄文時代
所在地	青森市大字新城字天田内	出土遺物	縄文土器多数 (第4図15・16、写真2-15・16)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		

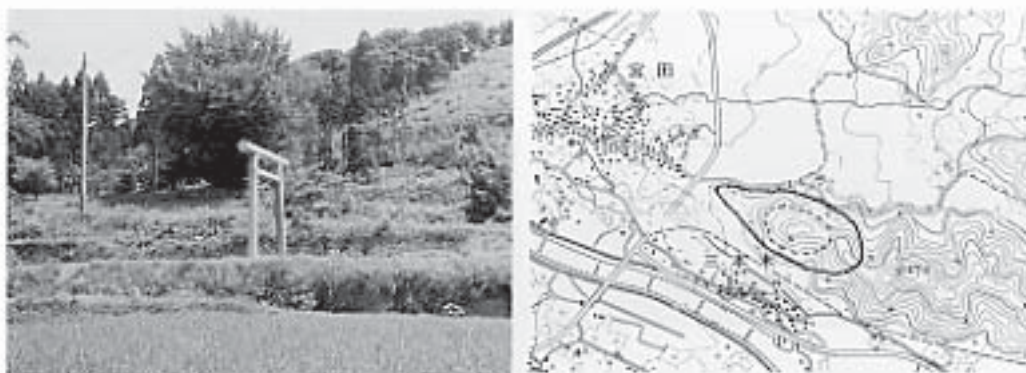


遺跡番号	01228	現況	畑地
遺跡名	天田内(3)遺跡	時代	縄文時代、平安時代
所在地	青森市大字新城字天田内	出土遺物	縄文土器・土師器数片、鉄滓 (第4図17・18、写真2-17・18・28)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		

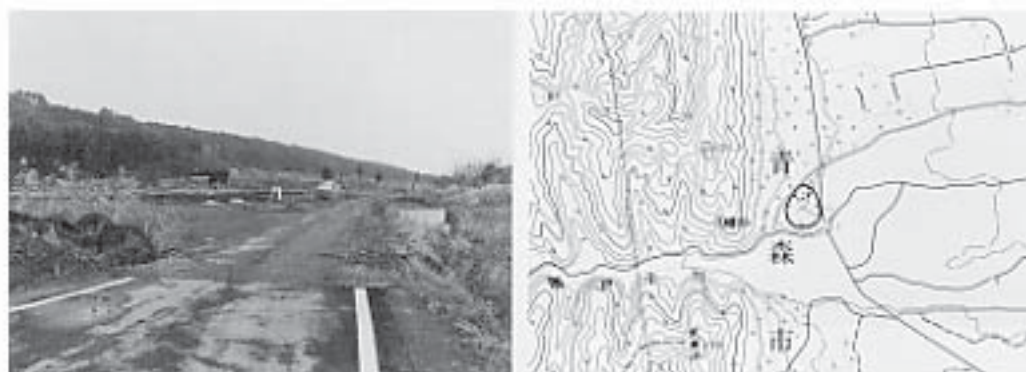


### 第3節 範囲を拡張した遺跡

遺跡番号	01190	現況	山林、畑地
遺跡名	宮田館遺跡	時代	縄文時代、平安時代
所在地	青森市大字宮田字玉水	出土遺物	縄文土器、土師器数片 (第4図19、写真2-19・29)
種別	館跡	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01119	現況	畑地
遺跡名	瀬戸子(3)遺跡	時代	縄文時代
所在地	青森市大字瀬戸子神田、磯田	出土遺物	縄文土器数片(第4図20、写真2-20)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		





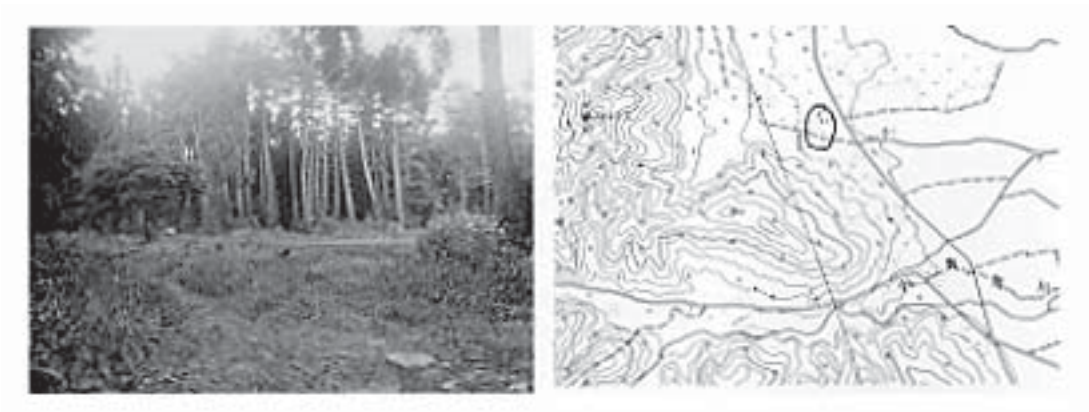
遺跡番号	01122	現況	畑地
遺跡名	前田(1)遺跡	時代	平安時代
所在地	青森市大字奥内字宮田	出土遺物	土師器数片(写真2-30)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01133	現況	畑地
遺跡名	内真部(5)遺跡	時代	縄文時代
所在地	青森市大字内真部字山下	出土遺物	縄文土器2片(第4図21、写真2-21)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



遺跡番号	01136	現況	畑地
遺跡名	小橋(1)遺跡	時代	縄文時代
所在地	青森市大字左堰字大科	出土遺物	フレーク2点(写真2-31)
種別	散布地	備考	周知の遺跡の確認調査時の発見
立地	丘陵		



#### 第4節 油川地区以北の周知の遺跡

新城川を境に北側の周知の遺跡の確認調査を実施した。遺跡の多くは、青森平野に大釈迦丘陵が突き出している台地に所在している。現況は、ほとんど畑地であり、以前の調査当時の様子とほぼ同じである。

しかし、ほ場整備のための道路変更で位置の確認に手間取ったり、休耕による畑地の草地化や樹木の成長により周囲の状況が変化している遺跡もみられた。また遺跡の場所は、おおよそ特定できるものの、長年の耕作により地表面に露出する土器の粉碎・除去・風化などで表面採集のできない遺跡が数多く見られた。

今回の調査で、約70箇所の通跡を再確認してみたところ、ほとんど同台地上で遺跡間の距離が極端に短いものが数箇所みられた。今後の課題として、より詳細な分布調査を実施するとともに、これまでの登録されている遺跡の統合あるいは分離を考えていくことが必要である。

## 表面採集資料について

石槍（油川城跡より表面採集）第2図1 写真1 - 1

全長12.3cm、最大幅4.3cm、厚さ1.6cm、重さ79.5g

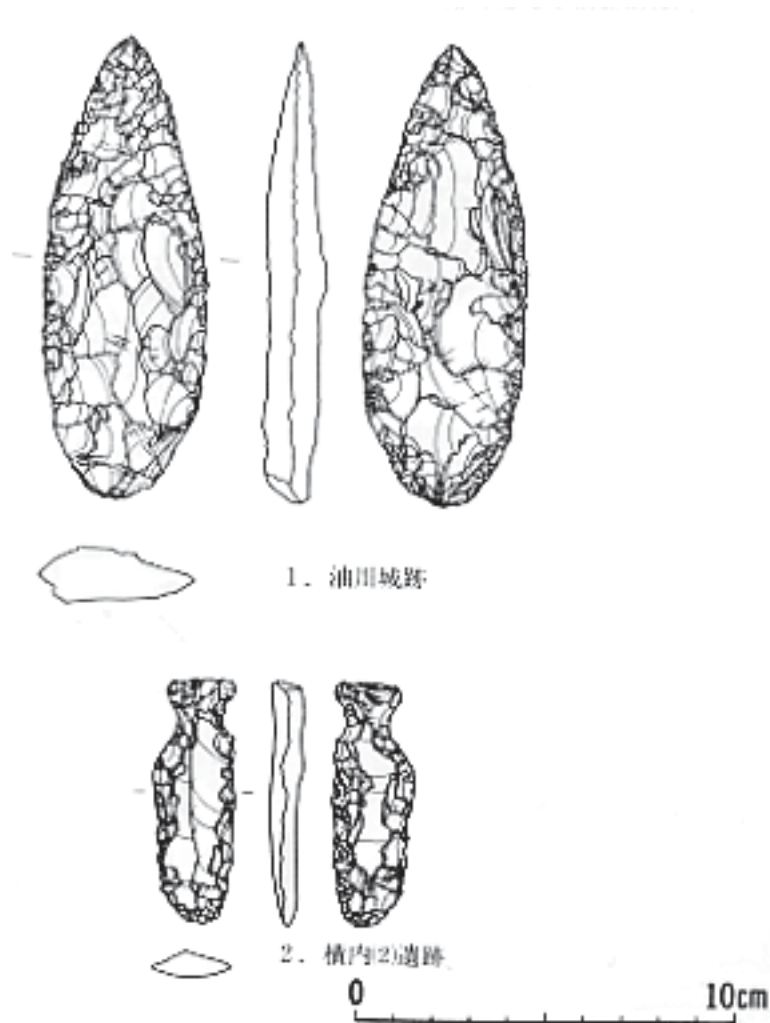
材質は頁岩、木葉形尖頭器、両面を全面調整しており、基部から中央部にかけて階段状剥離が見られる。

石匙（横内（2）遺跡より表面採集）第2図2 写真1 - 2

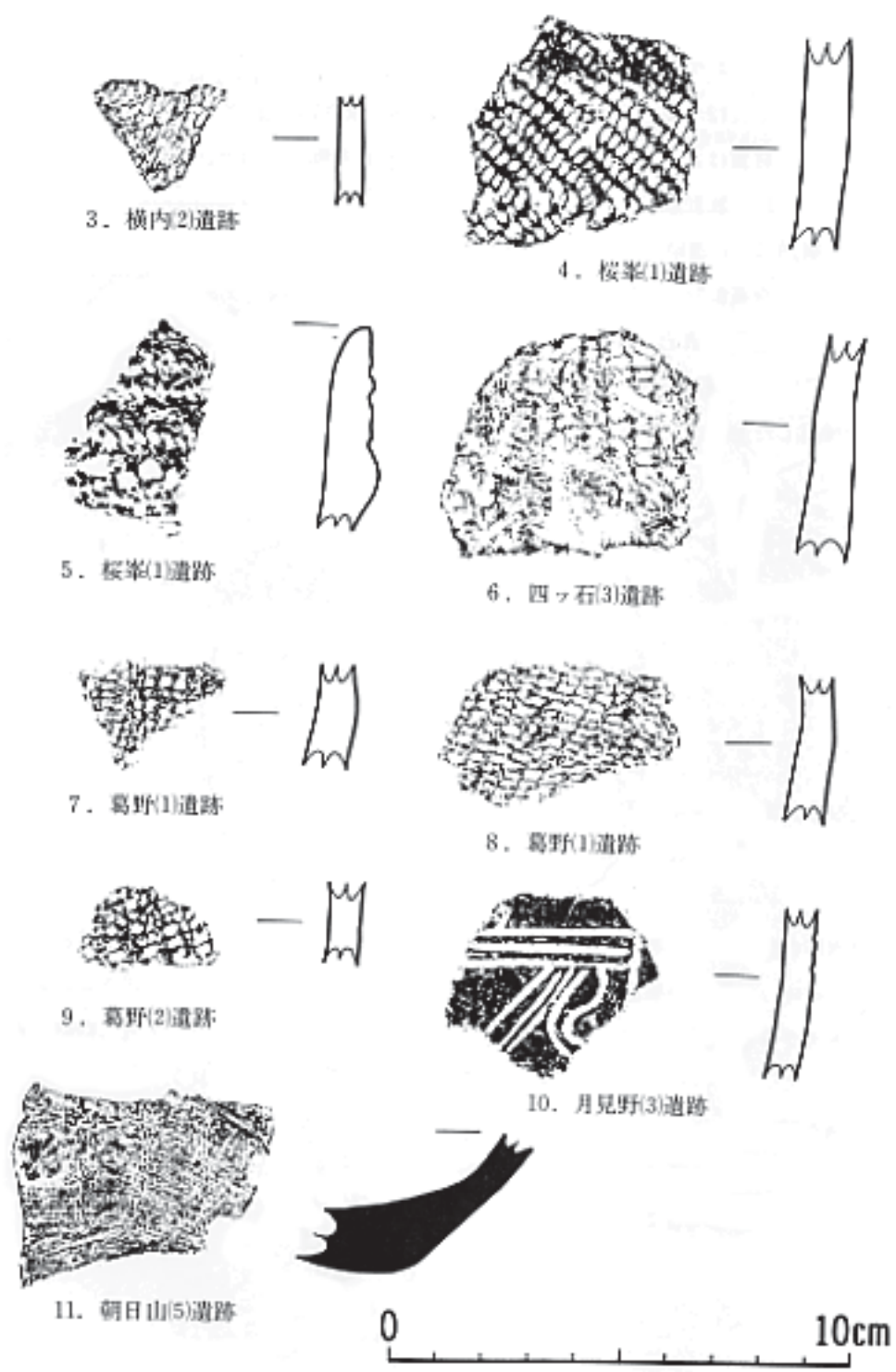
全長6.5cm、最大幅2.2cm、厚さ0.9cm、重さ12.2g

材質は頁岩、縦形剥片を加工している。表裏とも周縁部を調整しており中央に主要剥離面を残している。

表面採集した土器は、摩滅した小片のものが多く、時期を特定できるものが少ない。



第2図 表面採集資料



3. 横内(2)遺跡

4. 桜峯(1)遺跡

5. 桜峯(1)遺跡

6. 四ヶ石(3)遺跡

7. 葛野(1)遺跡

8. 葛野(1)遺跡

9. 葛野(2)遺跡

10. 月見野(3)遺跡

11. 朝日山(5)遺跡

0 10cm

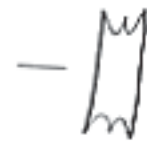
第3図 表面採集資料 (番号は写真1の番号と同一)



12. 前田(8)遺跡



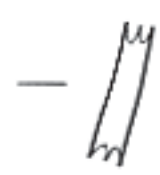
13. 小橋(7)遺跡



14. 小橋(7)遺跡



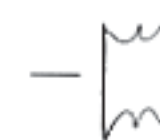
15. 天田内(2)遺跡



16. 天田内(2)遺跡



17. 天田内(3)遺跡



18. 天田内(3)遺跡



19. 宮田館遺跡



20. 瀬戸子(3)遺跡



21. 内真部(5)遺跡



第4図 表面採集資料 (番号は写真1・2の番号と同一)





1. 油川城跡



2. 横内(2)遺跡



3. 横内(2)遺跡



4. 桜峯(1)遺跡



5. 桜峯(1)遺跡



6. 四ッ石(3)遺跡



7. 葛野(1)遺跡



8. 葛野(1)遺跡



9. 葛野(2)遺跡



10. 月見野(3)遺跡



11. 朝日山(5)遺跡



12. 前田(8)遺跡



写真1 表面採集資料



13. 小橋(7)遺跡



14. 小橋(7)遺跡



15. 天田内(2)遺跡



16. 天田内(2)遺跡



17. 天田内(3)遺跡



18. 天田内(3)遺跡



19. 宮田館遺跡



20. 瀬戸子(3)遺跡



21. 内真部(5)遺跡



22. 野木沢田遺跡



23. 葛野(2)遺跡



24. 阿部野(2)遺跡



25. 阿部野(3)遺跡



26. 朝日山(4)遺跡



27. 朝日山(5)遺跡



28. 天田内(3)遺跡



29. 宮田館遺跡



30. 前田(1)遺跡

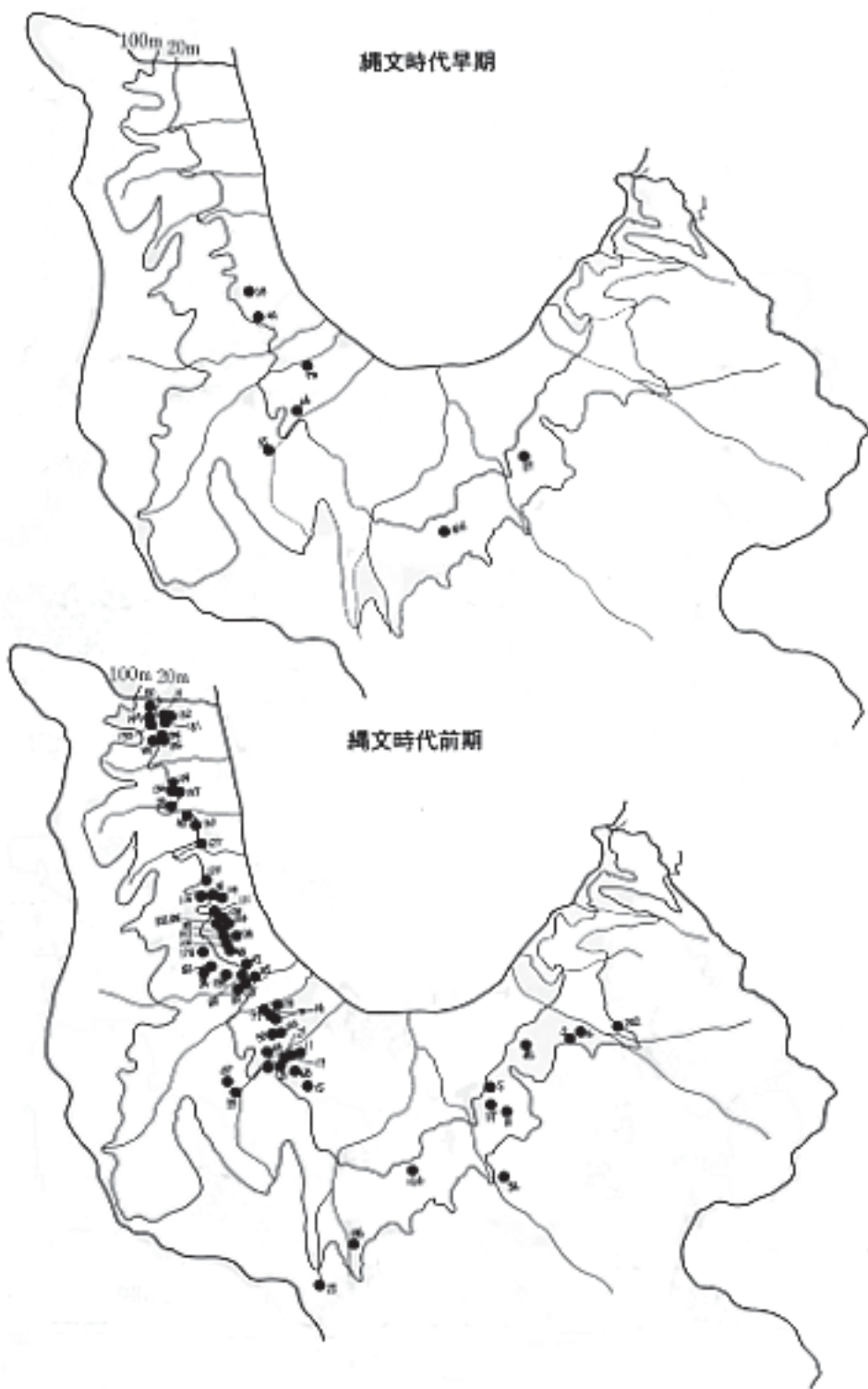


31. 小橋(1)遺跡

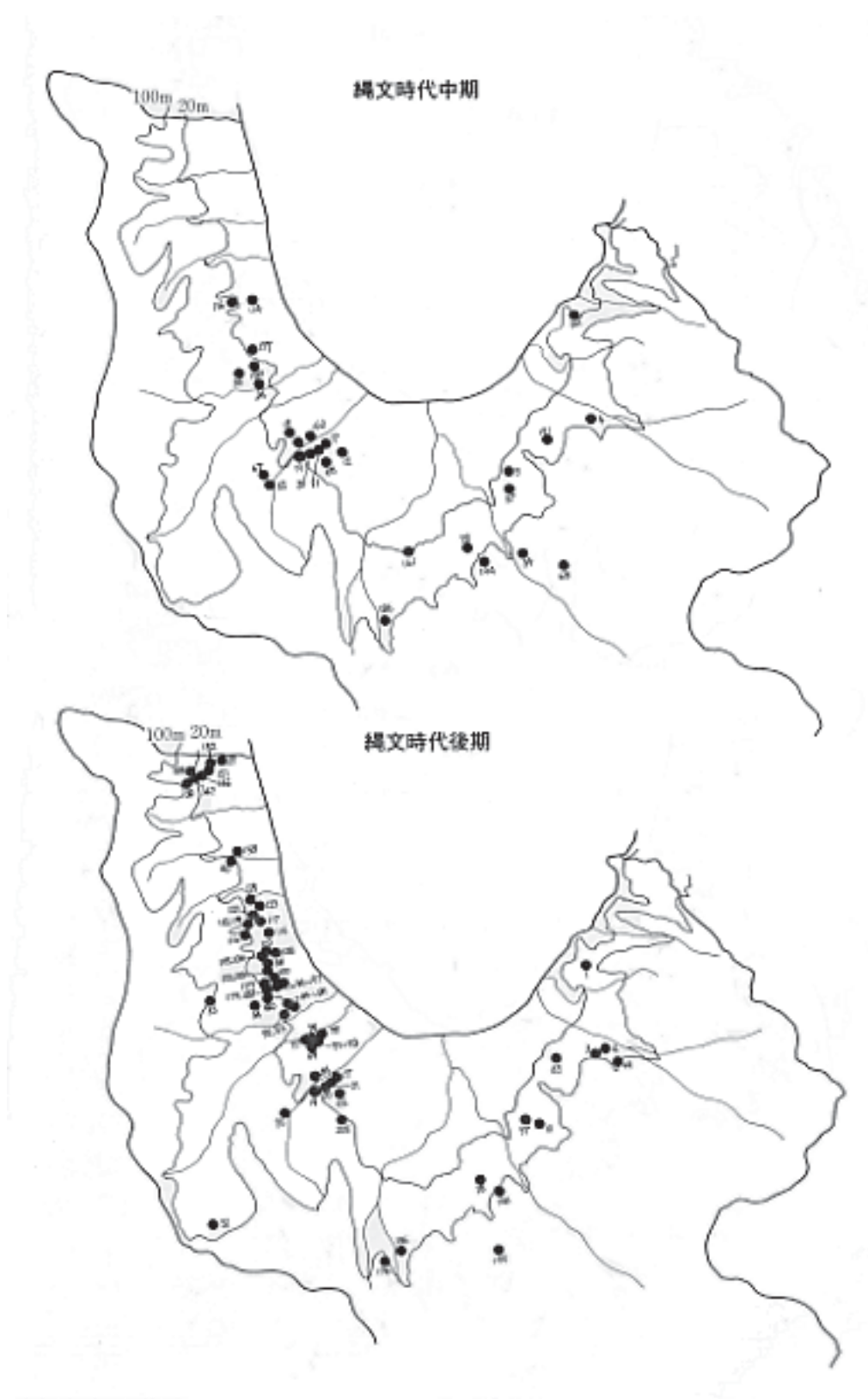


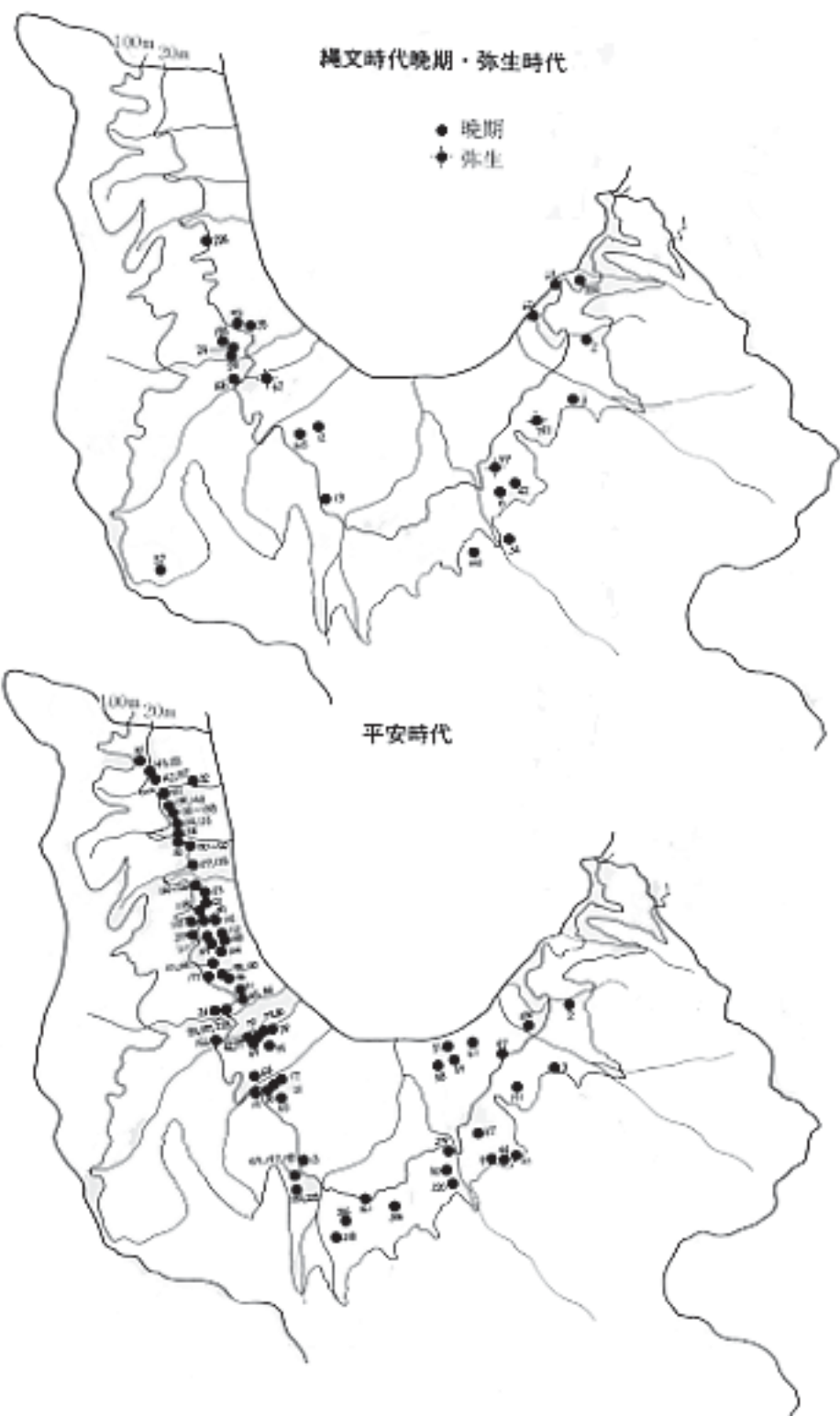
写真2 表面採集資料

第 5 節 時期別遺跡分布











### 時期別遺跡分布について

現在、青森市の遺跡数は、今回の調査を含め、縄文時代早期から中世の館・城跡までの228箇所である。時期別遺跡分布図は、昨年度作成した遺跡地図をもとに作成し、複合遺跡は、各時期ごとに重複して記載している。

本分布図は、海岸線を基準にして時期によって遺跡の前進・後退や時期によって標高などに遺跡分布の特徴がみられるかを探るために作成した。

時代順に各時期を考察すると、早期は遺跡数が少なく比較しにくいだが、前期とほぼ同一の地域に所在している。前期から遺跡数が増え、標高20m前後に分布している。中期は、遺跡数が減少し、後期に増加している。中期・後期の遺跡は、少し標高の高い地域へ移動しているようである。また、後期は前期との共伴が多い。晩期・弥生時代の遺跡数が減り、晩期では海岸線近くにも遺跡がみられるようになる。平安時代になると、平野に接する台地上にみられ、館・城跡は、見通しのよい平野に突き出した丘陵上に立地している。

青森市全体でみると、遺跡の立地は、西部で標高20m前後の台地の裾野に、南・東部では20m以上の台地に集中する傾向がみられる。

縄文時代の生活は、狩猟・漁労・採集を基本としているが、海があるにもかかわらず遺跡の分布が現在の海岸線から離れていることから、縄文海進によって海岸線が現在より内陸部にあり、海退と沖積によって青森平野を形成したと推察できる。 (徳差義男)

縄文時代 早期	縄文時代 前期		縄文時代 中期	縄文時代 後期	
038 大堤通跡	003 築木館岩瀬遺跡	111 夏井田(8)遺跡	004 築木館布引遺跡	001 山野峠遺跡	
055 熊沢遺跡	004 築本館布引遺跡	114 飛鳥(2)遺跡	005 戸山遺跡	003 築木館岩瀬遺跡	
057 蛭沢遺跡	005 戸山遺跡	116 飛鳥(4)遺跡	012 浪館(2)遺跡	004 築木館布引遺跡	
064 三内沢部(1)遺跡	010 月見野遺跡	120 瀬戸子(4)遺跡	017 小三内遺跡	010 月見野遺跡	
078 西バイパス(2)遺跡	011 浪館(1)遺跡	127 前田(6)遺跡	018 三内霊園遺跡	017 小三内遺跡	
094 野木和(6)遺跡	015 安田(1)遺跡	130 内真部(2)遺跡	019 三内遺跡	019 三内遺跡	
164 横内遺跡	017 小三内遺跡	136 小橋(1)遺跡	020 三内丸山(1)遺跡	020 三内丸山(1)遺跡	
	018 三内霊園遺跡	137 小橋(2)遺跡	021 三内丸山(2)遺跡	021 三内丸山(2)遺跡	
	019 三内遺跡	139 小橋(4)遺跡	024 天田内遺跡	027 磯部遺跡	
	020 三内丸山(1)遺跡	145 後潟(5)遺跡	028 四ツ石遺跡	028 四ツ石遺跡	
	021 三内丸山(2)遺跡	148 四戸橋(3)遺跡	034 野木和遺跡	030 山城遺跡	
	025 入内遺跡	149 四戸橋(4)遺跡	054 梨の木平遺跡	033 田沢森遺跡	
	029 大科支線口遺跡	150 後潟(6)遺跡	055 熊沢遺跡	034 野木和遺跡	
	031 後潟(1)遺跡	151 後潟(7)遺跡	057 蛭沢遺跡	038 大堤遺跡	
	034 野木和遺跡	152 後潟(8)遺跡	064 三内沢部(1)遺跡	040 内真部(1)遺跡	
	036 油川城跡	153 後潟(9)遺跡	065 近野遺跡	045 稲山遺跡	
	038 大堤遺跡	154 後潟(10)遺跡	067 新城平岡(1)遺跡	049 山の井遺跡	
	039 山辺遺跡	156 後潟(12)遺跡	068 梨の木平牧場遺跡	052 孫内遺跡	
	040 内真部(1)遺跡	163 江渡遺跡	114 飛鳥(2)遺跡	055 熊沢遺跡	
	045 稲山遺跡	164 横内遺跡	116 飛鳥(4)遺跡	057 蛭沢遺跡	
	054 梨の木平遺跡	178 羽白沢田(2)遺跡	161 新町野遺跡	064 三内沢部(1)遺跡	
	055 熊沢遺跡	181 野木和(14)遺跡	162 三内沢部(2)遺跡	065 近野遺跡	
	056 石江遺跡	185 野木和(15)遺跡	177 羽白沢田(1)遺跡	069 新城平岡(2)遺跡	
	057 蛭沢遺跡	186 山吹(1)遺跡	180 野木和(13)遺跡	071 高間(2)遺跡	
	064 三内沢部(1)遺跡	202 宮田山下(1)遺跡	186 山吹(1)遺跡	072 高間(3)遺跡	
	065 近野遺跡		191 牛蒡畑遺跡	073 高間(4)遺跡	
	067 新城平岡(1)遺跡		194 四ツ石(2)遺跡	074 高間(5)遺跡	
	070 高間(1)遺跡		201 久栗坂浜田(2)遺跡	077 西バイパス(1)遺跡	
	071 高間(2)遺跡			078 西バイパス(2)遺跡	
	073 高間(4)遺跡			082 岡町(2)遺跡	
	074 高間(5)遺跡			083 岡町(3)遺跡	
	077 西バイパス(1)遺跡			084 岡町(4)遺跡	
	078 西バイパス(2)遺跡			085 岡町(5)遺跡	
	082 岡町(2)遺跡			086 岡町(6)通路	
	085 岡町(5)遺跡			087 岡町(7)遺跡	
	086 岡町(6)遺跡			088 岡町(8)遺跡	
	087 岡町(7)通路			089 岡町(9)遺跡	
	089 岡町(9)遺跡			090 野木和(2)遺跡	
	090 野木和(2)遺跡			091 野木和(3)遺跡	
	092 野木和(4)遺跡			092 野木和(4)遺跡	
	097 野木和(9)遺跡			093 野木和(5)遺跡	
	098 野木和(10)遺跡			094 野木和(6)遺跡	
	100 西田沢(2)遺跡			095 野木和(7)遺跡	
	102 西田沢(4)遺跡			096 野木和(8)遺跡	
	104 夏井田(1)遺跡			097 野木和(9)遺跡	
	105 夏井田(2)遺跡			098 野木和(10)通路	
	106 夏井田(3)遺跡			100 西田沢(2)遺跡	
	107 夏井田(4)遺跡			102 西田沢(4)遺跡	
	108 夏井田(5)遺跡			103 西田沢(5)遺跡	

縄文時代 後期	縄文時代 晩期	平 安 時 代		館・城跡
105 夏井田(2)遺跡	002 長森遺跡	002 長森遺跡	101 西田沢(3)遺跡	022 戸崎館遺跡
106 夏井田(3)遺跡	003 築木館岩瀬遺跡	003 築木館岩瀬遺跡	103 西田沢(5)遺跡	026 尻八館遺跡
107 夏井田(4)遺跡	006 玉清水(1)遺跡	009 月見野壺園遺跡	104 夏井田(1)遺跡	036 油川城跡
108 夏井田(5)遺跡	012 浪館(2)遺跡	013 細越遺跡	107 夏井田(4)遺跡	041 築木館遺跡
110 夏井田(7)遺跡	013 細越遺跡	017 小三内遺跡	108 夏井田(5)遺跡	048 駒込館遺跡
114 飛鳥(2)遺跡	023 岡町(1)遺跡	019 三内遺跡	111 夏井田(8)遺跡	066 細越館遺跡
116 飛鳥(4)遺跡	024 天田内遺跡	020 三内丸山(1)遺跡	112 夏井田(9)遺跡	129 前田蝦夷館遺跡
117 瀬戸子(1)遺跡	035 野木和公園遺跡	021 三内丸山(2)遺跡	114 飛鳥(2)遺跡	159 内真部館遺跡
118 瀬戸子(2)遺跡	042 沢山(1)遺跡	024 天田内通跡	116 飛鳥(4)遺跡	167 新城跡
119 瀬戸子(3)遺跡	052 孫内達跡	029 大科支線口遺跡	118 瀬戸子(2)遺跡	168 土筆山館遺跡
121 瀬戸子(5)通跡	054 梨の木平遺跡	030 山城遺跡	121 瀬戸子(5)遺跡	169 戸門館遺跡
123 前田(2)遺跡	060 野内遺跡	032 不浪知遺跡	123 前田(2)遺跡	170 高田城跡
125 前田(4)遺跡	063 大浦遺跡	037 西田沢(1)遺跡	124 前田(3)遺跡	171 高田蝦夷館遺跡
146 四戸橋(1)遺跡	065 近野遺跡	039 山辺遺跡	125 前田(4)遺跡	172 小館遺跡
147 四戸橋(2)遺跡	093 野木和(5)遺跡	040 内真部(1)遺跡	126 前田(5)遺跡	173 野尻館遺跡
149 四戸橋(4)遺跡	160 田茂木野遺跡	043 沢山(2)遺跡	127 前田(6)遺跡	174 横内城跡
151 後潟(7)遺跡	166 新城山田遺跡	044 沢山(3)遺跡	128 前田(7)遺跡	175 多字未井館遺跡
152 後潟(8)遺跡	184 宮本(1)遺跡	047 後菴遺跡	131 内真部(3)遺跡	190 宮田館遺跡
153 後潟(9)遺跡	200 久栗坂浜田(1)遺跡	050 阿部野遺跡	130 内真部(2)遺跡	204 飛鳥山館遺跡
158 内真部(8)遺跡	224 前田(8)遺跡	051 沢田遺跡	132 内真部(4)遺跡	225 湯ノ沢館遺跡
176 小牧野遺跡		053 赤坂遺跡	133 内真部(5)遺跡	
177 羽白沢田(1)遺跡		057 蛭沢遺跡	134 内真部(6)遺跡	
179 野木和(12)遺跡		058 佃遺跡	135 内真部(7)遺跡	
180 野木和(13)遺跡		059 小柳遺跡	136 小橋(1)遺跡	
182 野木和(15)遺跡		061 露草遺跡	137 小橋(2)遺跡	
183 野木和(16)遺跡		062 西高校遺跡	138 小橋(3)遺跡	
186 山吹(1)遺跡		064 三内沢部(1)遺跡	139 小橋(4)遺跡	
194 四ツ石(2)遺跡		065 近野遺跡	140 小橋(5)遺跡	
199 雲谷山吹(1)遺跡		069 新城平岡(2)遺跡	141 小橋(6)遺跡	
205 安田水天宮(2)遺跡		072 高間(3)遺跡	142 後潟(2)遺跡	
221 月見野(3)遺跡		075 高間(6)遺跡	143 後潟(3)遺跡	
	弥 生 時 代	077 西バイパス(1)遺跡	155 後潟(11)遺跡	
		078 西バイパス(2)遺跡	157 後潟(13)遺跡	
		079 西バイパス(3)遺跡	161 新町野遺跡	
	057 蛭沢遺跡	080 西バイパス(4)遺跡	165 朝日山(1)遺跡	
	062 西高校遺跡	081 西バイパス(5)遺跡	166 新城山田遺跡	
	191 牛蒡畑遺跡	082 岡町(2)遺跡	177 羽白沢田(1)遺跡	
		083 岡町(3)遺跡	189 玉水遺跡	
		084 岡町(4)遺跡	191 牛蒡畑遺跡	
		085 岡町(5)遺跡	197 朝日山(2)遺跡	
		086 岡町(6)遺跡	198 朝日山(3)遺跡	
		087 岡町(7)遺跡	206 横内(2)遺跡	
		088 岡町(8)遺跡	216 野木沢田遺跡	
		089 岡町(9)遺跡	218 葛野(2)遺跡	
		091 野木和(3)遺跡	219 阿部野(2)遺跡	
		096 野木和(6)遺跡	220 阿部野(3)遺跡	
		098 野木和(10)遺跡	222 朝日山(4)遺跡	
		099 野木和(11)遺跡	223 朝日山(5)遺跡	
		100 西田沢(2)遺跡	228 天田内(3)遺跡	

## お わ り に

平成5年度は、年々増え続けている埋蔵文化財関係の報道がより多くあったように感じられた一年でありました。また、報道の効果による埋蔵文化財への興味・関心の高まりが、当委員会の遺跡の現地見学会に訪れる人数の増加に表れているものと考えられます。しかし、反面では、開発の増加とともに遺跡の記録保存という形を取りつつ、遺跡が消滅しているということもひとつの事実です。

このようななかであり、埋蔵文化財の保護と開発行為の調整を図り、先人の残した文化財を正しく子孫へと伝えていくことが大切であり、正確な遺跡の位置・範囲・性格などを把握した遺跡の戸籍台帳の整備が欠かせないものとなっています。

今年度の分布調査の成果として、16箇所の新遺跡が確認できました。そのなかの一つで市道6号線改良工事に伴う分布調査によって確認された埋蔵文化財包蔵地は、速やかに記録・保存という形であれ、遺跡の保護を目的とする緊急発掘調査が実施されました。この例から考えると、表面観察では数片の土器でありましたが、道路建設によって破壊される前に、地中に隠れた数多くの遺構が日の目を見ることができ、研究の一助となりました。

また、今後いくつかの課題を残しています。今回の分布調査を終えた段階で、228箇所を数えますが、地表面の観察のみでは林間部の遺跡の有無を見分けることは難しく、まだすべての遺跡を網羅するに至っていません。本年度の報告書では、このことを踏まえ、各時期ごとの分布図を作成し、遺跡の立地条件などを考慮に入れながら、今後の分布調査に役立てていきたいと思っています。

今年度は、遺跡の再確認ということを含めて、油川地区以北の周知の遺跡の分布調査も実施しました。その結果、年数の経過により休耕地の増加や樹木の成長により遺跡の周囲の概要の変化が著しい場所や遺跡の範囲を考えるうえで、統合・分離が必要であるいくつかの遺跡も見られました。

今年度も、広報あおもりに埋蔵文化財の啓蒙の記事を掲載したところ、畑地から土器が出土するという市民からの情報をいただきました。今後も地道な分布調査を継続し、青森市の遺跡のより正確な戸籍を完備するよう心掛けていきたいものであります。



既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財	1	1962 『三内霊園遺跡調査概報』
〃	2	1965 『四ッ石遺跡調査概報』
〃	3	1967 『玉清水遺跡調査概報』
〃	4	1970 『三内丸山遺跡調査概報』
〃	5	1971 『野木和遺跡調査報告書』
〃	6	1971 『玉清水 遺跡発掘調査報告書』
〃	7	1971 『大浦遺跡調査報告書』
〃	8	1973 『孫内遺跡発掘調査報告書』
		1979 『螢沢遺跡』
		1983 『四戸橋遺跡調査報告書』
青森市の埋蔵文化財		1983 『山野峠遺跡』
〃		1985 『長森遺跡発掘調査報告書』
〃		1986 『田茂木野遺跡発掘調査報告書』
〃		1986 『横内城遺跡発掘調査報告書』
〃		1988 『三内丸山 遺跡発掘調査報告書』
青森市埋蔵文化財調査報告書第16集		1991 『山吹(1)遺跡発掘調査報告書』
〃	第17集	1992 『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』
〃	第18集	1993 『三内丸山(2)遺跡発掘調査概報』
〃	第19集	1993 『市内遺跡発掘調査報告書』
〃	第20集	1994 『小牧野遺跡発掘調査概報』
〃	第21集	1993 『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃	第22集	1994 『小三内遺跡発掘調査報告書』
〃	第23集	1994 『三内丸山(2)遺跡・小三内遺跡発掘調査報告書』

---

青森市埋蔵文化財調査報告書第21集

市内遺跡詳細分布調査報告書

発行年月日 平成 6 年 3 月 3 1 日

発行 青 森 市 教 育 委 員 会

〒030 青森市中央一丁目22 - 5

TEL 0177 - 34 - 1111

印 刷 東 北 印 刷 業 株 式 会 社

---